

神道の精神をヨーロッパへ

サンマリノ神社の宮司に就任する
フランチェスコ・ブリガンテさんに聞く

インタビュー

✧世界中で「禊」を体験

「神道を知らなくても、その精神に憧れ、実践している人々は世界中にいます」
— 神道の伝道者が語るメッセージとは

※通訳はサンマリノ大使館の
森本美紀さん。文責・編集部



フランチェスコ・ブリガンテ

52歳。イタリアのプーリア州出身、サンマリノ共和国在住。
[2009年～2011年]マルケ州（中部イタリア）ロシア領事館・観光
問題顧問。 [2009年～現在]サンマリノ共和国コンベンション&
ビジター事務局セールスマネージャー。 [2006年～現在]デルタ
有限会社代表取締役（国際的イベント・プロモーション・経済交
流のコンサルティング会社）。サンマリノ神社の宮司は、無償の
ボランティアとして就く予定。趣味は、ビンテージカーの修復・
収集、読書（エッセイ）、宗教学、音楽鑑賞、旅行（約40か国）。

— 本誌5月号のサンマリノ共和
国駐日大使、マンリオ・カデロ閣
下のインタビューで紹介したサ
ンマリノ神社は、いよいよ今年12
月に御社殿が竣工し、来年の春に
はお披露目の祭典が行われる予定
と聞いています。本日は、サンマ
リノ神社の宮司に御就任予定のフ
ランチェスコ・ブリガンテさんに
お話を伺いしたいと思います。
このたびの来日では山形県の出羽
三山神社で修行をなされたとお聞
きました。いかがでしたか。
ブリガンテ 初めて参拝し修行に
参加しましたが、長い伝統を持ち、
独特の雰囲気を持った聖域で、神
道を理解するには最適な場所と思
います。

— 9月号に登場いただいた和田
裕美さんのお話ではとても厳しい

修行だとか。滝に打たれたりする
のでしょか。

ブリガンテ はい。雪解け水で冷
たいのですが、でも私は平気でし
た。理性でコントロールできます
禊の哲学のひとつは水の清らかさ
にあると思います。水は生命の源
であり、自然の清浄さの象徴です。
流れ落ちる水に打たれていると身
体が洗われ、自然の清浄なものが
身体の中に入ってくるような気が
して清々しい気持ちになります。
禊によって身体と精神が浄化され
るといふ考えはすばらしいものだ
と思います。

― 出羽三山は初めて？
ブリガンテ はい。ただ「禊」を
したのは初めてではありません。
私はアフリカのザンビアやロシア
やノルウェーなど世界各地の大自然
のなかで滝に打たれてきました。
― いつ頃から？
ブリガンテ 最初はノルウェーの
友人のところでした。彼はオス
ロ郊外の山の中に住んでいて、そ
こで身体を鍛えるためのトレーニ
ングをしていました。そのひとつ
に滝行があったのです。以来、40

カ国を旅してきましたが、いろん
なところで「禊」を経験してきま
した。

― ノルウェーの友人は神道の方
だったのですか？
ブリガンテ そうではありません。
しかし、彼は単に神道を知る機会
がなかっただけで、その生活態度
はまさに神道の人でした。神道を
知らずして、すでに神道の信者で
あったのです。自然を愛し、人々
と正しく付き合ひ、家族を愛し、
国を愛していましたから。

― なるほど、ライフスタイルが
神道的だったんですね。
ブリガンテ そうです。神道がク
オリティライフ、つまり生活の質
を高めるもので、自然に注意を払
いながら自然と共に生きる生き方
を指すとすれば、そういう考えや
生活実態を持つ人は世界中にいる
と思います。ただ、体系的なもの
として学んでいないためにどう位
置づけていいか、分からないだけ
なのです。私は、そういう世界中
の人々に神道というものを伝えた
いのです。

✪神道の精神をヨーロッパに 広めたい

― ブリガンテさんもかつては、
神道を知らずしてすでに神道的な
考えを持ち、生活をされていたわ
けですね。とすると、日本の神道
が意識の中に入ってきたのはいつ
頃だったのですか。

ブリガンテ 私は初めはキリスト
教徒でした。もちろん今でもカト
リックですが、同時に仏教に興味
をもって仏教徒になったこともあ
ります。日本の神道に触れたのは
本を通してでした。そして若い頃
から慕っていた現在の大使（サン
マリノ共和国駐日大使、マンリ
オ・カデロ閣下）に神道について
いろいろと教えていただきました。
神道に関して書物で学んだことを
直接日本の地を踏むことで、より
深く学びたいと思い、こうして日
本にやってきました。

― 神社がサンマリノに出来る
と聞かれたときはどんなお気持ち
だったのですか？
ブリガンテ うれしい驚きでした。
なぜならサンマリノは世界で最も

**健康であればこそ
世の中の役に立っています。**

世の中に氾濫する健康情報を、
ちょっと違った角度から眺めてみませんか。
①健康情報誌(B5版44頁) 無料進呈中
②祝日に国旗が印刷されたカレンダー 無料進呈中

株式会社 **オカヤマ** 岡田恭一
〒708-0324 岡山県 苫田郡鏡野町竹田1110-1
Tel. 0868-54-3161 Fax. 0868-54-4004
<http://www.horebore.cleans.jp/>

護國の大神に感謝の誠を捧げましょう



日主祭典
春季大祭当日祭 四月三十日
同 第二日祭 五月一日
英霊奉謝祭 八月十五日
秋季大祭当日祭 十月二十三日

英霊顕彰館
学校では教えない
近現代の正しい歴史ここにあり
英霊の遺された勲功を展示

青葉城鎮座
宮城縣護國神社
980-0862 仙台市青葉区天守台
電話 022(223)7255
FAX 022(223)7269

世界中の多くの人々が神道の精神を必要としています

古い共和国であり、そこに世界で一番古い君主国の文化である神社が建つわけですから。そして、地理的にもヨーロッパに住む全ての日本人にとって帰る場所ができるということの意味するからです。

ヨーロッパ在住の日本人にとっての故郷となり、またこの神社を通してヨーロッパに神道のことを伝えられるようになればと願っています。なお、大使から聞いたところでは、サンマリノ神社の創建には、日本、サンマリノ両国の友好と東日本大震災の犠牲者の慰霊という願いがこめられているとのこと。

ブリガンテさんはそのサンマリノ神社の初代宮司になられるわけですが、そもそもどういう経緯で？

ブリガンテ 大使は私を若い頃からよく知っておられて、「禊」の体験などについてもよくご存知なのです。大使は「あなたは神道の精神を伝えるのにふさわしい人です。この考えを皆さんに伝える仕

事をしてみませんか？」とおっしゃいました。ですから、私は、単に肩書だけの宮司になるつもりはありません。神道の精神をヨーロッパに広めたいのです。そのためにも今回学んだ宮司になるための基礎の勉強をもとに、より宮司にふさわしい内実を身につけていきたいと思っています。

カトリックであることと神道の神社の宮司になることとは両立するのですか？

ブリガンテ 大丈夫です。なぜなら神道は宗教というより人生哲学なのです。自然といかに共生するか、という人間の生き方の模範的な形が神道にはあると思います。そしていまほど世界中の人々がこの哲学を必要としているときはないと思います。私は彼らにこの神道の精神を伝えたいのです。

神道の精神が日本人を支えている

ところで、お名前の「フラン

チェスコ」は、かの「フランシスコ・ザビエル」と同じですか。

ブリガンテ そうです。日本に初めてやってきた宣教師と同じ名前であることはうれしいことです。

神社そのものについてはどのように感じられますか。

ブリガンテ 神社は神道の精神を物理的に表し、その聖域のなかに人々を招き入れることによって、神道の精神を感じ取ることでできる場所だと思います。

今回の来日中、出羽三山神社以外の神社には行かれたのですか？

ブリガンテ はい、街中の神社にも行きましたが、どれも印象に残るものでした。とくに明治神宮は興味深かったです。神社の御社殿だけでなく境内の様子、鎮守の森なども見て、その配置などについても学ぶことができました。鶴岡市内にある神社にもとても惹かれるものがありました。

日本の国についてはどのような印象をお持ちでしょうか。

ブリガンテ 面積は大きくないのに数々の偉大なことを成し遂げた国として尊敬しています。世界の

消臭静菌の純植物性消臭液ニオイノン®は
たった一秒で臭いを消します。

ニオイノン

●35cc入り.....1,000円 ●100cc入り... 2,300円
●500cc入り...10,000円 ●1リットル入り 18,000円
(消費税込み)

※注文は電話・FAX・マガキ・インターネット・メールで！ 送料無料

※平日16:00までのご注文はその日に発送いたします。

お電話 0120-86-1261
FAX 059-345-4164
www.HB-101.co.jp
メール info@HB-101.co.jp

株式会社フローラ
〒610-0855 三重県四日市市馳出町3-39

樺太の神社

BS判854頁10500円(税込)

最新刊

発行 北海道神社庁

北方領土の神社

BS判296頁31500円(税込)

かつて樺太にも北方領土にも神社があった。北海道と深い関わりをもつ地域の信仰史に迫る。神社一覧や多数の見取図も収録。資料的価値も高い一冊！

神社新報社
TEL 03-33379-8211
FAX 03-33379-8213
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-1-2

産業のトップを走りながら同時に古代からの長い歴史を持ち、天皇という世界唯一無比の存在を中心にとままとした、伝統と近代が共存する国だと思えます。今日を築くまで日本人がどれほど努力してきたか、ということをおもうと敬意を払わずにはいられません。そして、それは日本人が神道の精神を失わなかったからだと思うのです。

― とすると逆に神道の精神を失うとき、日本人は日本人でなくなり、大いなる力も失ってしまうとブリガンテ そうです。日本の若者に訴えたいのはそのことです。日本の若者の多くが日本の文化や歴史の重要性に気づいていないように見えることはとても残念なことです。それはひとり日本の損失にとどまらず、人類の文明にとつての損失です。なぜなら、日本の文化、なにかんづく神道の精神こそは今、世界中が求めている精神だからです。自然と人間との調和、人々の間の心の調和など世界が必ず要としているものが神道にはすべて含まれているのです。

ですから、日本の若者には、自分

の国である日本の文化伝統について、とりわけて神道についてもっと自覚してその精神を世界に発信してほしい。私が日本に興味を持つのは、一人一人の日本人に神道の精神が宿っているからです。一人一人の日本人が神道の精神を体現しているからです。あまりにも身近なので気づいていないだけかもしれないませんが、であればこそもっと自覚的になってほしいと思います。そして神道の精神でもって世界を牽引してほしいと思います。

― 今の日本人は若い世代だけでなく、戦後の教育を受けて育った世代の多くが、アメリカカナイズされたり、あるいは共産主義イデオロギーに毒されたりして、日本の歴史や文化にあまり誇りを持っていないかもしれません。

ブリガンテ ヨーロッパにも同じ問題があります。若い人はアメリカの方ばかり見えています。アメリカンスタイルに画一化されがちな傾向には危惧を覚えます。

― その傾向はグローバルizmといっているかと思いますが、そういう画一的な世界ではなく、各国

がそれぞれの文化や伝統を重んじつつ調和していくことが理想だとおっしゃるんですね。

ブリガンテ その通りです。ところで、この雑誌の名前の由来はどういうものですか？

― 『日本の息吹』と言いますが、真の日本、すなわち、日本の歴史伝統文化を次代に伝える様々な活動の息吹を広げて行こうというものです。

ブリガンテ そうすると、『日本の息吹』の持つ精神と私が日本の若者に伝えたいメッセージとは一致するわけですね。それはうれしいことです。

― ありがとうございます。貴重なメッセージに少しでも応えられるように誇りある国づくりの活動に邁進したいと思えます。サンマリノ神社のご発展をお祈りいたします。(8月27日インタビュー)

サンマリノ神社について二つのご案内

◆参拝ツアー参加者募集

来年の4～5月頃、サンマリノ神社がお披露日のお祭りを現地(サンマリノ共和国)で斎行します。これに合わせて、日本からの参拝ツアーを企画中です。詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。お問合せは、日本会議愛知県本部 (TEL 052-763-4678、FAX 052-763-4588)まで。

◆日本サンマリノ友好記念チャリティ金貨のご案内

本誌5月号でご紹介した金貨には多くの皆さんにご連絡いただきました。好評につき改めてご紹介いたします(在庫あります)。2枚組で、表には神武天皇と橿原神宮が、裏にはサンマリノの国章が描かれています。収益の一部は、日本赤十字社と全国盲人写真展へ寄付されています。お問合せは、日本会議愛知県本部 (TEL 052-763-4678、FAX 052-763-4588)まで。

